

【京都市の目指す子ども像】

「伝統と文化を受け継ぎ、次代と自らの未来を切り拓く子ども。」

～3つの姿～

- 京都が育んできた伝統と文化に立脚し、広い視野と豊かな感性により、よりよい社会を創造する子ども
- 学校教育を通じた学びを生かし、社会的・職業的自立を果たす子ども
- 多様な他者と共に生き、学び合い、人権文化の担い手となる子ども

梅津中学校「学校教育目標」(再掲)

人間尊重を基盤として、社会の変化に惑わされることのない正義感と志をもち、
仲間を大切にできる心をもつ、豊かな人間性の育成。

1. 目指す生徒像

- ①思いやりと優しさ、素直な心を持ち、挨拶と言葉を大切できる生徒。
- ②校則やみんなで決めた約束を守ることができる、規範意識の高い生徒。
- ③正義感を持って行動し、仲間を大切にでき、笑顔が輝く生徒。
- ④学習・行事・部活動など様々な活動に自ら積極的に取り組める生徒。
- ⑤進路展望を持ち、将来必要な学力や生きる力を身につけた生徒。

2. 目指す教職員像

- ①すべては生徒のため、与えられた責任を、個々の能力を最大限に発揮し、果たす教職員。
- ②「チーム」として認め合い、補い合い、高め合い、常に上を目指し、行動する教職員。
- ③相互批判・意見交流・研修を通して、自らの課題を明確にし、日々向上する教職員。
- ④生徒に寄り添い、一人ひとりを大切にし、長所を見つけ、伸ばせる教職員。
- ⑤服務規程を遵守し、教育公務員としての倫理観の高い教職員。

3. 目指す学校像

- ①楽しく安心して登校でき、平和で美しく、落ち着いた環境の学校。
- ②生徒と教職員が共に、目標に向かい、生き生きと活動している学校。
- ③生徒と教職員が共に「学校が好き！」と言える学校。
- ④生徒と教職員の心が、共に通じ合い、信じ合っている学校。

⑤小学校・地域・保護者との信頼関係が強く、連携し地域全体の教育力向上を目指す学校。